

山行報告書

報告書作成

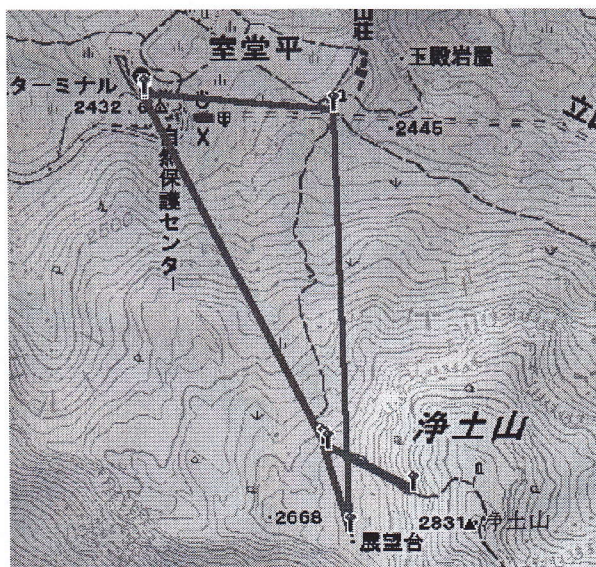
2014年1月20日

山名 [山域]	立山	目的と方法	雪山山行
登山期間	11月30日	山行形態	日帰り
参加人数	2名		

行動記録

11月30日 自宅(3:30) ==岡崎IC(4:30) ==0== 安曇野IC(7:00)=扇沢PA(8:00 8:30)=室堂(9:25 10:00) -- 浄土山(12:00 12:30) -- 室堂(14:30 14:45) - 扇沢(16:25) - 大町温泉(17:30 18:30) =安曇野IC(19:30) =岡崎IC(22:30)= 自宅(23:00)

概念図



日誌

風のない晴天のなか始発のバスで室堂に向かう。室堂に向かうアルペンルートの中、バックカントリーの方ばかりで登山・観光は私達2人だった。室堂の改札口をでると山岳警備隊の方が待っていて「スキーとボードの方は集まってください」と言われたので素通りしようとする、登山は当然とばかり怒られ改札口前で『命の重さと真砂の雪崩』という紙をもらい、先週の真砂の雪崩と命の重さ、室堂での注意事項など説明を受けて、ターミナルから出るとすぐに山岳警備隊の方々が待機していて、今日の行先を聞かれたので雄山というと、険しい顔で自粛するように促されて、今回はスノーシューとワカンの両方持って行って違いを確認と今シーズン初の雪山のため装備の確認が目的だったので一緒に行った会員の方と相談で浄土山方向に進路をとることとした。

毎年のことだが室堂周辺は積雪が2mくらいあり、とても苦労して浄土山の途中のアイゼンを使用しないここからいけない場所まで行って、同行者のワカンにアイゼンが装着できないため、周辺で写真を撮って、雄山がよく見える場所まで移動すると、警備隊の方が追いかけてきて注意を受ける。

当日、早朝から雄山に登っていったパーティーがいたが、その組が下山するまでヘリがずっと雄山周辺を周回し、室堂～雄山に入るルート上の雪崩の危険の少ないところにも警備隊が配置されずっと登山者を双眼鏡で監視する厳戒態勢のアルペンルート最終日だった。また、事前に道具のメンテナンスをしているが、シーズン最初の冬山登山で問題点があることがあるため、正月の山行前にお互いに問題点が見つかってよかったと思います。ワカンにアイゼンが取り付けられないトラブルは、夏靴に合わせたアイゼンのためワカンの紐の部分に干渉していたので家で調整したとのことです。